

# 八郎瀉残存湖の リンを巡る情報交換会

八郎湖の水質改善に向けて、県や周辺市町村が連携して様々な取り組みや啓発が行われている。この数年、CODには改善の兆しが見られるが、アオコの大量発生抑制には至っていない。低濃度のリンでも発生するアオコを減少・消滅させるには根本的なリン対策が必要とされている。例えば、湖沼・発生源からのリン回収は富栄養化の防止に貢献できる。

一方、世界的なリン資源の枯渇問題は、わが国の産業にも深刻な影響を及ぼしかねない。また、八郎湖の質的な水問題の解決は近い将来深刻化する世界的な水問題にも通じるものがある。これらの問題意識を踏まえて、様々な角度からの調査研究の成果を活かした総合的な取り組みが望まれる。そこで各機関が現地で実施中のテーマにスポットをあてて、八郎湖のリン問題への取り組みの現状と課題を探り、今後の協力のあり方や湖沼のリン削減を実現するための方策を探求する。

本フォーラムを通じて秋田から、八郎湖の水質改善に取り組む自治体、大学、流域住民のネットワーク活動及びリン資源に関する情報を全国（世界）に向けて発信する。

日時

平成23年**3月13日** 10時30分から16時30分

場所

秋田県立大学 大学院棟  
大講義室(M216)

入場料

無料

## プログラム

第1部	10:30	開会の挨拶
	10:35~12:00	基調講演
	12:00~13:30	昼食

第2部 13:30~13:50 八郎湖の水質保全対策

(石郷岡 晋 秋田県生活環境部環境管理課八郎湖環境対策室)

13:55~14:15 大瀧村における木炭を利用した水質浄化対策活動事例紹介

(佐藤 繁美 大瀧村農地・水・環境保全向上対策推進会議)

14:20~16:30 八郎湖のリン賦存量と湖水・湧水からリンの回収法と有効利用

(座長：尾崎 保夫)

- (1) リン賦存量と発生負荷源 (片野 登 秋田県立大学)
- (2) 八郎瀉に湧出する高リン酸地下水の資源化物語  
八郎湖の水質保全を支える「八郎太郎のお宝」(佐藤 敦 地域資源開発研究所)
- (3) もみ殻を原料とした選択的リン回収材の開発と実用化への展開  
(成田修司 秋田県健康環境センター)
- (4) PSI 浄水発生土を活用したリン吸着材の開発と実用化への取り組み  
(日高 伸 秋田県立大学)

### 申し込み

事前の申し込みは不要です。  
直接会場へおいで下さい。

### 問い合わせ

秋田県立大学  
自然生態管理学研究室(日高)  
☎018-872-1622

基調講演 10:35~12:00

## 「世界と日本の水問題」

グローバルウォータ・ジャパン GWJ 代表  
国連テクニカルアドバイザー

吉村 和就 先生

(秋田県秋田市出身)

【プロフィール】

水の安全保障戦略機構・技術普及委員長、経済産業省「水ビジネス国際展開研究会」委員、他



質疑応答

主催：秋田県立大学

後援：秋田県／大瀧村／水土里ネット大瀧／大瀧村農地・水・環境保全向上対策推進会議／地域資源開発研究所／環八郎湖市民ネットワーク